

～神奈川県人文学会主催 人文学会講演会～

「色彩と文化」第一回講演会

# 〈光〉の作曲家スクリャービン

## 色聴・神智学・象徴主義

講師 長井 淳

日時：2007年11月21日（水）16時20分～17時50分

場所：神奈川県横浜キャンパス 17号館 215会議室

（東急東横線白楽駅より徒歩13分）

参加無料 来聴歓迎 事前申込不要

終了後、ミニ懇親会あり（参加無料）

長井 淳（ながい じゅん）

早稲田大学ロシア文学専攻出身。東京国際大学・津田塾大学非常勤講師。

専門：19世紀末～20世紀前半のロシア文学・文化。

講師からのメッセージ：

ロシアの作曲家アレクサンドル・スクリャービンは音を聞くと色が見えたといい、この共感覚（色聴）を自身の音楽作品に導入し、《プロメテウス》、別名「光の交響曲」を完成させます。この前代未聞の試みは、今にして見ると照明技術が発展途上にあった時代の舞台演出のひとつに思われますが、そこには単なる演出効果を越えた神智学的なイデーが込められていました。スクリャービンの企図したことが一体何であったのか、象徴主義など当時の文化的背景も視野に入れ、お話ししたいと思います。



共同研究「世界の色の記号に関する実証的研究—自然・言語・文化の諸相—」

問い合わせ 神奈川県横浜キャンパス 神奈川大学人文学研究所（〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1）

電話 045(481)5661（代表）；企画代表アドレス [ku-rossiya@freeml.com](mailto:ku-rossiya@freeml.com)